

日本人は何故、貯蓄が好きなのか

何故、日本人は貯蓄が好きなのか？別に好きで貯蓄しているのではなく、老後が不安だからでしょう。

1,300兆円もの財政赤字が不安の元凶でしょうし、家族の絆の希薄化で、いざと言う時に子や孫もどれほど支援してくれるものやら、不安で仕方がないのでしょう。政府与党のバラマキを黙って受け取り、自ら薄情な子や孫に育てたの

だから、仕方がないのですが、消費生活を抑えて貯蓄することで、経済も委縮し、収入も伸びないのが現状です。

普通の市民が虎の子の資金をどういう形で残せばよいのか考えた場合、土地神話はとっくの昔に崩壊しており、持てば税金も掛かります。金や株式投資は乱高下する投機・ばくち的な所業と言うイメージが強く、やはり銀行預金しかないということでしょう。前回のバブル崩壊の呪縛から抜け出せないで見えます。

アベノミクスのインフレ・ターゲットは2%ですが、インフレ率と同程度の賃上げも預金金利のアップも約束されているわけではありません。インフレになれば、その分、預金の貨幣価値は目減りし、実質の収入も目減りすることとなり、生活も苦しくなると考えた方が良さそうです。

こんなことを漠然と考えている時に面白い提案を発見しましたので紹介させていただきます。

現行の公的年金制度の廃止・基礎年金への切り替え提案

提案：「公的年金制度の保険金積立制度を廃止し、税を財源とする基礎年金に切り替える」

制度改定後の世代別年金受取額

- ・既に年金を受け取っている高齢層には、基礎年金＋現行の給付額
- ・現在積立中の現役層には、基礎年金＋積立額に応じた上乘せ額を支払う。
例月の積み立てが無くなるので、その分、消費、投資等に回せる。
- ・未加入者は基礎年金のみ

結果として、初年度の年金給付額は大きく増えるが、その時点がピークでその後は増える心配は無く、時間とともに減っていく。やがて間違いなく基礎年金のみの支払いになる。

現状の年金の積立残額は全額国庫に入れ、現金は財政赤字の補填に回し、債券は満期を待ち、株式は高値で売りぬければよい。

但し、財源とする消費税（実質：社会福祉税）も税率が上昇することになるが、老後の心配が軽減されることになるので良しとしよう。

出所：澤上篤人『やっぱり、インフレがやって来る』明日香出版

基礎年金は日本円の評価・価値に関係なく、物価連動になるでしょうから、ある程度の生活は保障されます。老後の不安がなくなれば、あるいは軽減されれば、その分、消費や投資にまわせる様になります。

高額所得者もマイナンバー制度で銀行預金にするとか、海外に資産逃避させるとか、はたまた、タンス預金にするとか、資産をどういう形で残すかとかいう面倒なことを考えず、使ってしまうおうという気になるでしょう。

誰も、我慢して貯蓄するより、欲しいモノは手に入れて豊かな生活を送りたいと考えるでしょうし、その方が人間らしくていいんじゃないですか。

基礎年金制度への転換は世帯間格差も、現役層の不満も解消できる優れた案だと思われませんが如何でしょうか。